



ASAHI University News Letter

vol.117

September 2018

発行日／隔月1日

編集・発行／朝日大学 入試広報部



穂積キャンパス大講義室で朝日大学の魅力に触れる

高校生や保護者の方々を対象としたオープンキャンパスを、穂積キャンパスで開催しました。参加者たちは、模擬授業・実習体験、入試・奨学金説明、学食体験など希望するプログラムに参加し、大いに「朝日大学」を体感したようです。

# オープンキャンパスを開催

## オープンキャンパスに過去最大の参加者

### 模擬授業・キャンパス見学などで1日大学生

法学部、経営学部、保健医療学部の志望者を対象としたオープンキャンパスが穂積キャンパスで開催されました。

県内外から大変多くの高校生や保護者らが来学し、模擬授業・実習体験、入試・奨学金説明、学生や教職員とのフリートークなど希望するプログラムに参加、大いに「朝日大学」を体感したようです。



キャンパスツアー(就職支援)



学生による学部紹介(法学部)



最新の機器を用いた実習体験(健康スポーツ科学科)

保健医療学部健康スポーツ科学科では、総合グラウンド内演習棟でオープンキャンパスを実施。実習体験では、最新の機器を用いて参加者が身体の動きを測定し、運動を科学的な視点で捉えることの大切さを実感しました。

キャンパスツアー(就職支援)

保健医療学部看護学科では、学科説明・看護の魅力や模擬授業、教員や学生スタッフと共に実習を体験。参加者は基礎看護学実習室で包帯法の手順やコツを、母性・小児看護学実習室では子どもへの授乳やジャケット着用による妊婦体験など、各専門領域の看護に触れました。



赤ちゃん抱っこ・育児体験(看護学科)

また、大学生活の様子など自由に質問できる学生スタッフとの交流コーナーへ多くの参加者が訪れ、大学での学びについて理解を深めました。

### 未来の歯科医師を目指す

歯学部志望者を対象としたオープンキャンパスでは、全国各地から本学歯学部への入学をめざす高校生、保護者・家族らが集い、建学の精神や教育方針、歯科医師国家試験への取り組み、新しく設定された「信長入試」など2019年度入試の概要、そして、歯科医師の魅力などの説明に熱心に耳を傾けていました。

参加した高校生たちは、模擬講義で歯科の専門知識を学び、また、最新鋭機器を備えたシミュレーション実習室で、参加者が患者型マネキンで実際に虫歯に見立てた模型の歯を削る「シミュレーション実習」により歯科医療の現場を真剣な面持ちで実体験しました。

未来の歯科医師たちは、朝日大学の歯学教育を体験し、歯科医師をめざす気持ちがより強くなったようです。



「患者型マネキン」ではじめての歯科治療

### 市民相談室



#### 相談内容

- ▶ 法律・経営に関するこ
- ▶ 歯や体の健康に関するこ

朝日大学では、地域の皆様との交流を深めるとともに、大学で行っている教育や研究の成果を皆様の生活に役立てていただけるよう、市民相談室を開設しています。

それぞれの分野について専門の教員が皆様からご相談をお受けし、解決に向けてのアドバイスをさせていただきます。

#### 予約制

相談は電話による予約制です／予約受付時間／月～金 9:00～17:00 土 9:00～13:00

法律・経営  
健康相談 TEL 058-329-1199  
E-mail:soudan@alice.asahi-u.ac.jp

入試相談 ☎ 0120-058327  
E-mail:nyushi@alice.asahi-u.ac.jp

## ひろみちお兄さんが授業

穂積キャンパス体育館で、健康スポーツ科学科の「建学の精神と社会生活」「キャリア形成Ⅰ」の授業と、同学科教員のFD研修が合同で行われました。

同学科客員教授の「ひろみちお兄さん」と佐藤弘道先生に「地域スポーツ～子どもと触れ合う～」をテーマに講義を、その後、さまざまな体操や遊びの実技・実習を担当いただきました。



佐藤先生が地域スポーツを解説

将来、スポーツ指導に関わる可能性のある学生ら約300名に対して、佐藤先生は「子どもは遊びを通じて運動やスポーツを知ることが多い。子どもたちの遊ぶ環境を整え、運動やスポーツの楽しさを伝えるとともに、子どもたちの運動能力を育ててください」と解説をいただきました。

### さまざまな特色ある授業を展開

同学科では、佐藤先生のほか、「メンタル」をテーマにアテネ五輪ハンマー投げ日本代表で客員准教授の室伏由佳先生、「メダリストへの道」をテーマにリオ五輪平泳ぎ金メダリストで、ぎふ瑞穂スポーツガーデン所属の金藤理絵先生、「オリンピックとスポーツ振興」をテーマに東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長で客員教授の河野一郎先生、「コンディショニング」をテーマにケッズトレーナー代表取締役で客員教授の大竹健一先生から、それぞれの専門的立場から特色ある授業を担当いただきました。



室伏先生が「メンタル」をテーマに講義

## 有識者懇談会を開催

穂積キャンパスで「朝日大学の教育研究に関する有識者懇談会」が開催されました。

懇談会では、本学の教育研究について、ならびに2017年度事業報告・決算について説明が行われ、棚橋敏明瑞穂市長はじめとする有識者委員の方々から貴重なご提言等をいただくことができました。懇談会での貴重なご意見は、今後の教育課程編成の検討や研究活動に活かしていくこととなります。

有識者懇談会は、本学の学部及び大学院研究科における教育研究について、学外の有識者から意見を聴き、教育課程編成等の改善検討及び研究活動の推進に活かすことを目的として設置されている懇談会です。



有識者懇談会が開催される

## 北欧フィンランドから 歯学部学生を受け入れ

本学と文化学術交流協定を締結し学生・教員の相互交流を行っているフィンランドのトゥルク大学歯学部の教員と学生が、本学歯学部での短期海外研修のため来日しました。

一行は、穂積キャンパス図書館のクリエイティブワークエリアで藤原周歯学部国際交流委員長らによる「日本文化と食べ物」、「パノラマ撮影を用いた新技術の開発」の講義、トゥルク大学Hanna教員の「顔面骨折の手術に関する研究」を受講。

その後参加者は、医科歯科医療センターで永原國央センター長の指導のもと、インプラント科でのオペや、大診療室でのマイクロスコープを用いた診療を見学し、本学での充実した研修プログラムに取り組みました。

### 日本文化を体験

トゥルク大学の学生たちは、キャンパス内の相撲場を訪問。



体育会相撲部の部員らとともにまわしをつけて練習に参加、満面まわしをつけ満面の笑顔で決めポーズの笑顔で日本の伝統文化「相撲の奥深さ」を実体験していました。

## 歯学部海外研修を実施

歯学部では、国際的な視野を持ち幅広く活躍できる歯科医師を育成するために、毎年夏季休暇等を利用し「短期海外研修」を実施しています。5年生を対象とした海外研修の費用は全額大学で負担しており、学生にとっては、海外の医療の現場を知る絶好の機会といえます。

出発前に壮行会が行われ、宮田侑相談役、宮田淳理事長、大友克之学長、江尻貞一歯学部長、藤原周歯学部国際交流委員長ほか、引率教員ら関係者が出席しました。

今回海外研修に参加する学生たちは、研修先での各種研修プログラムに思いを馳せ、期待に胸を膨らませると共に、それぞれの意気込みを英語、イタリア語、中国語などの研修先の言語で堂々と発表していました。

### 海外4カ国7大学へ派遣

夏季休暇を利用した2018年度の歯学部短期海外研修は4カ国7大学でそれぞれ行われ、8月末までに全て終了、将来の歯科医師たちにとって実り多い海外研修となったようです。

	フィンランド トゥルク大学	2名
	北京大学口腔医学院	5名
	空軍軍医大学口腔医学院	5名
	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	5名
	テキサス大学サンアントニオ校	5名
	アラバマ大学バーミングハム校	5名
	メキシコ州立自治大学	5名

※その他、アメリカ、イタリア各1大学への派遣を予定

## 名誉ある「Best Doctors」を受賞

大橋宏重朝日大学病院長が、医師同士の調査によって、同業の医師の方々から高い支持を得て選ばれる「Best Doctors in Japan 2018-2019」に選出されました。

「Best Doctors in Japan」とは、ピュアレビュー調査によって決定され、前回の調査で「Best Doctors in Japan」に選ばれた先生が、「先生ご自身またはご家族の治療を自分以外の誰に委ねるか」という観点で推薦・評価を受けて決定される名誉ある賞です。

アメリカで1989年にベストドクター社が創立され、日本では(株)法研の支援のもと、この事業が行われています。



## 高大連携で看護学科の実習を体験

高大連携事業の一環として聖マリア女学院高等学校(岐阜市)の看護学科実習体験が穂積キャンパスで開講され、同校2年生の生徒約100名が「看護師の魅力」を熱心に学びました。

開講にあたり保健医療学部看護学科長の須賀京子教授が挨拶。その後、同校OGの在学生が後輩へ大学生活のアドバイス(ビデオメッセージ)を行いました。

生徒たちは4グループに別れ、「創傷処置、聴診器を使ってできること、小児科の看護師さんの体験、自助具を使った日常生活動作の体験」をそれぞれ実習し、看護師の魅力を学ぶと共に「一日看護学生」を体験しました。



須賀先生が看護学について説明



小児科の看護を体験

## FD・SD研修会で教職員が学ぶ

FD活動推進委員会主催による「FD・SD研修会」が、教職員など約170名が参加し穂積キャンパス6号館大講義室で開催されました。本研修会は、授業方法等の改善と向上を通じて「魅力ある授業」を学生に提供すると共に、「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざし毎年開催されています。

今回の研修会では、東京理科大学工学部教授で前教育担当副学長の山本誠先生を講師にお迎えし、「学生自身によるPDCAサイクルの確立」と題して、同大学における教育改革の取り組みについて講演をいただきました。参加者は学修ポートフォリオシステムや、授業収録配信システムによるアクティブラーニングについて熱心に学びました。

### ハラスメント防止に向け

また、弁護士法人岐阜合同法律事務所の弁護士山内沙絵子先生を講師にお迎えし、1号館講義室で「職場におけるハラスメントの防止について－女性に対するセクシャル・ハラスメントを中心に－」と題した講演をいただきました。法人役員、役職者、管理職、ハラスメント相談員ら約80名がハラスメント防止に向けた研修に参加しました。

## ジュニア・ロースクール開講

穂積キャンパス6号館模擬法廷で、中学生を対象とした「ジュニア・ロースクール」が開講されました。

裁判員制度の実施に伴い、国民の司法参加が必須となった今日において、一般市民に対する法教育、さらには、若年層に対する学校での法教育の重要性が増しています。

ジュニア・ロースクールは、岐阜県弁護士会、法学部を有する朝日大学、県内の小・中・高等学校の法教育推進を目的として設立された岐阜法教育研究会が連携し、中学生の夏休み体験学習の一つとして毎年開催されています。

### 模擬法廷で裁判を体験！

模擬法廷に集まった38名の中学生たちは、初めて体験する裁判所(模擬法廷)の様子に少し緊張ぎみの様子でしたが、刑事事件における証拠の検討、考慮すべき事情から論点を整理し、少人数のグループに分かれて熱心に話し合いを行いました。



中学生たちが刑事裁判の仕組みを学ぶ

## 米国人映画監督が講演

法学部ならびに経営学部の初年次教育科目「建学の精神と社会生活」に、沖縄県内の米軍基地問題などを題材にした長編ドキュメンタリー映画「沖縄うりづんの雨」を制作した米国人映画監督のジャン・ユンカーマン氏をお招きし、「沖縄を考える」と題して同作品の上映と監督による講演会を穂積キャンパス6号館大講義室で開催しました。

大友学長との対談のなかで、監督は作品を振り返りながら「沖縄県に基地がたくさんあることは仕方がない、というような差別的な考えが沖縄戦から今日まで続いている」と指摘し、「日本と米国、若い皆さんといっしょにこの問題について関心を持ち、解決していきましょう」と学生たちに語りかけられました。



ユンカーマン氏と大友克之学長が対談

## ヒットメーカーに学ぶ

穂積キャンパスでマーケティング研究所が岐阜県商業教育研究会と共に「第13回ヒットメーカーに学ぶ!商品開発塾」を開催しました。

今回は、味の素(株)食品事業本部家庭事業部メニュー調味料グループの谷口基氏を講師にお迎えしました。「業界初のデジタル広告で売り上げ倍増。『香味ペースト』秒速メシ」と題して同氏により、「消費者の真の欲求を見つけることが重要。日々進化するデジタルマーケティングやデジタル広告の活用が成功の秘訣」など商品開発の現場について熱く語っていただきました。



売り上げ倍増の秘訣を谷口氏が語る

開発塾では、愛知・静岡・三重・岐阜県の商業教育を担う高等学校教諭、セイノーホールディングス関係各社や岐阜県商工会連合会の関係者、本学の教職員学生ら約120名が熱心に学びました。講演会終了後には、交流懇談会が開催され、講師を囲み活発な情報交換が行われていました。

## 貴重図書の寄贈を受ける

図書館では、次の図書の寄贈を受けました。

### 『聖アポロニア探訪譚』(デンタルダイヤモンド社) 2018

東京医科歯科大学名誉教授である三浦不二夫先生から、図書を寄贈していただきました。歯科雑誌に『アポロニア21』があるように、「聖アポロニア」は歯科界では有名な聖人です。歯を患者の守護聖人のその絵姿は、手に鉗子を持っているものが多く、なぜ聖人になったかには驚く由縁があります。著者自身が、ヨーロッパ各地に存在するアポロニアと名のつく場所に実際に出かけ、歯にまつわる風習なども記載しています。写真を楽しめる紀行書としても、これから歯科医を目指す学生さんにぜひお勧めする1冊です。

## 「梶原文庫」と感謝状の贈呈



梶原美知子様(右)から蔵書を寄贈いただけ

昨年8月に逝去された前岐阜県知事梶原拓氏の蔵書101冊を本学に寄贈された美知子夫人への感謝状の贈呈式を行いました。

本学では、寄贈いただいた図書を「梶原文庫」と名付け、学生・教員の学習研究に役に立て行きたいと考えています。蔵書には、地方自治に関する資料や、自らのルーツにつながる「梶原」姓に関する歴史書も含まれており、拓氏が書評を添えた本もあります。故人の生前の幅広い人脈が偲ばれ、付箋を貼った頁からはどの部分に关心を寄せていたかを伺い知ることができる興味深い資料が集められています。

## 教育懇談会を開催

### 建学の精神に基づく教育方針を説明

法学部、経営学部、保健医療学部健康スポーツ科学科の教育懇談会が穂積キャンパスで開催されました。

各学部の懇談会では、学部長から「建学の精神」に基づく教育方針の説明を交えた挨拶や教員紹介などがあり、その後活発な質疑応答が行われました。



「個別面談」では、指導教員と父母とが、学生のキャンパス内の様子や学業成績、就職活動状況などについて個別に面談を行い、実り多い教育懇談会となりました。

## 瑞穂市の活性化に取り組む

瑞穂市は2016年から進めている「JR穂積駅周辺拠点化構想推進事業」の一環として「ワイワイ会議」を設置しており、朝日大学の学生も積極的に会議に参加して市民や中高生らとともにJR穂積駅周辺の活性化策を話し合っています。

今回の「ワイワイ会議」では、穂積駅周辺のタウンガイド「ほづみに!! よってみい 喫茶店・甘味処編」を完成させて、市役所や紹介されている各店舗で配布を開始しました。



タウンガイドを作成した荒深ゼミのメンバー

タウンガイドは、昨年9月ごろから経営学部荒深友良教授のゼミ生が中心となって構想を練り、中高生とともに店舗での取材や割引サービスが受けられるよう交渉を行って完成に至りました。作成に関わった学生は「穂積駅から徒歩での時間やお薦めメニュー、営業時間などが掲載されているので、ぜひタウンガイドを利用して駅周辺を盛り上げましょう」と呼びかけていました。

## ネット有害情報を監視

穂積キャンパス5号館会議室において、「岐阜県警サイバー防犯ボランティア」の委嘱式が行われました。

委嘱式では、県警本部生活環境課の芝野見広課長から委嘱状が交付され、「善良なネット利用者の一員として、健全なネット社会の形成にぜひ協力ください」とのご挨拶をいただきました。また、委嘱状を受けた学生たちは「ネット犯罪の撲滅に協力したい」と意気込みを語りました。



サイバー防犯ボランティアの委嘱状を受ける

学生たちは、今後、著作権違反や児童ポルノなど有害情報と疑われる情報をネット上で監視、有害情報を発見した場合にはインターネット・ホットラインセンター（東京都）へ通報し、有害情報の撲滅に協力していくこととなります。

## 「熱中症対策講話」を受講

「熱中症対策講話」が学生部主催の行事として穂積キャンパス5号館講義室で行われ、各クラブの学生や教職員ら約80名が受講しました。

本講話は、この時期「熱中症」による事故が多数報告されていることから、運動中、課外活動中の「熱中症の危険性」について、学生や教職員が十分認識を高めることを目的に毎年開催されています。



「熱中症の危険性」について語る土屋氏

大塚製薬（株）の土屋勝哉氏からは、「熱中症」の発生要因とその対処法について分かりやすく講話がなされると共に、実際に身近なスポーツドリンクを利用した補給法が示されました。参加した学生や教職員は、「熱中症」を身近な問題としてとらえ、みな真剣な眼差しで受講していました。その後、引き続いだ、山本英弘学生部長が講師を務め「救急救命法講習会」が開催され、参加者はいざというときの「心肺蘇生法」を学びました。

## 学生補導講演会を開催

学生部では、「犯罪に巻き込まれないために」と題し、穂積キャンパス5号館講義室において「学生補導講演会」を開催しました。

### 「安全・安心マップ」を作成

講演会では、はじめに山本英弘学生部長の挨拶があり、その後、北方警察署の若尾尚宏生活安全課長から、昨今多発している「SNS、DV、ストーカー、アルコール」などのトラブルに本学学生が巻き込まれないようにと「各自の自己防衛のための意識高揚」につながる講話をいただきました。学生、教職員約60名の受講者たちはメモをとりつつ熱心に講師の話に耳を傾けていました。



北方警察署生活安全課長による講話

**SPORTS****ボウリング****世界ユースボウリングで優勝!!**

体育会ボウリングチームの入江菜々美選手(ビジネス企画4年)が、アメリカミシガン州デトロイトで開催された「第15回世界ユースボウリング選手権大会」女子シングル戦においてみごと優勝し、世界ユース金メダルを獲得しました。

**会計研究部****「公認会計士試験(短答式)」現役合格**

会計研究部では、超難関試験といわれている「平成30年公認会計士試験(短答式)」において、4名の部員がみごと現役合格(受験者5,346名で合格者975名)をはたしました。

公認会計士試験(論文式、短答式)や日商簿記検定1級・2級などに合格した会計研究部のメンバーは現在64名。彼らは経営学部経営学科で学び、公認会計士、税理士や企業の財務・経理プロフェッショナルをめざして、現役公認会計士らの個別指導のもと専用学習室でパソコンやWebサポートシステムなどで学び、日々、夢の実現に向け歩みを続けています。



「平成30年公認会計士試験(短答式)」にみごと現役合格

**バレーボール****元全日本代表が総合コーチに**

体育会バレーボール部の総合コーチに、元全日本男子代表として活躍した泉川正幸氏が就任されました。

泉川氏は、日本体育大学在学中にバルセロナ五輪へ出場。2001年には全日本男子バレーボールチームのキャプテン、2016年までV・プレミアリーグのトヨタ車体クインシーズで監督を歴任され、日本のバレーボール界を牽引してこられました。

選手、そして指導者としても数多くの実績を残してこられた泉川氏の総合コーチ就任により、今春の東海大学リーグ1部Bで優勝を収めた本学バレーボール部のさらなる躍進が期待されます。



井上義浩監督と泉川正幸総合コーチ(右)

**自転車競技****西日本インカレ「13連覇」達成**

体育会自転車競技部は、岸和田競輪場(大阪府)で行われた「第54回西日本大学対抗選手権大会」に出場。スプリント、1kmTT、ケイリン、スクラッチレース、タンデムSP、チームSP、4kmTPの7種目で優勝を収め圧倒的な強さを發揮。西日本インカレの「総合優勝」をはたすと共に、この大会前人未到の13連覇の栄冠に輝きました。

自転車競技部は、今後「全日本大学対抗選手権大会」へ出場し、14年連続の総合入賞をめざすこととなります。



圧倒的な強さで13連覇を達成

**フェンシング****「全日本学生王座決定戦」で活躍**

体育会フェンシング部は、「第68回全日本学生フェンシング王座決定戦」(東京:駒沢体育館)において、男子フルーレとエペの両種目で愛知工業大学に、また、女子フルーレとサーブルの両種目で同志社大学に勝利し、それぞれ3位の成績を収めました。

王座決定戦は、東西の学生リーグ戦を勝ち抜いた上位2校のみに出席権が与えられ大学ナンバーワンを決める大会。堂々の成績を収めたフェンシング部は、秋の全日本インカレでのさらなる活躍が期待されます。

**相撲****全日本女子相撲で優勝の栄冠**

岐阜県郡上市で開催された女子相撲のぎふ清流国体開催記念「第9回全日本郡上大会」において体育会相撲部が優秀な成績を収めました。

小学生から一般まで25都府県の167名が出場した同大会では、個人一般の部中量級で朝日大学が優勝から3位までを独占。また、団体一般の部ではみごと優勝の栄冠に輝きました。



優秀な成績を収めた相撲部

# NEWS

## 学生と社会人のワールド・カフェ



棚橋敏明瑞穂市長が有意義なワールド・カフェをと挨拶  
学生食堂で「聞いて 話して 学び合える！学生×社会人のワールド・カフェ」を開催。学生や社会人ら約80名が参加しました。

カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で少人数で自由な話し合いを行うワールド・カフェでは、はじめに棚橋敏明瑞穂市長が開会のご挨拶をされ、その後、NPOあゆみだした女性と子どもの会理事長の廣瀬直美氏による講演が行われ、参加者たちは、和やかな雰囲気の中で「男性も、女性も、もっとできるようになるとよいこと」をテーマに情報交換や相互理解を深めました。

## スポーツフェスティバル開催

体育会が(公社)ぎふ瑞穂スポーツガーデンと共に瑞穂キャンパスで「第9回スポーツフェスティバル」を開催。地元の小・中学生や保護者ら約400名が参加し、大学生らとのスポーツを楽しみました。

今回で9回目の開催となった同フェスティバルは、全学をあげてスポーツ活動を支援している朝日大学が、地域貢献活動としてレクリエーションを通じてスポーツに親しんでもらおうと開催したスポーツイベントで、地域住民と学生の交流の場にもなっています。

### 子供たちとスポーツ体験

体育会所属の各クラブの部員らが指導者となり、ラグビー部、フェンシング部、相撲部、硬式野球部、硬式庭球部、剣道部、ホッケー部、「防犯ボランティアめぐる」が、それぞれ遊びの要素を取り入れたレクリエーションやゲームを企画運営し、参加者らと共に楽しみました。



## 朝日祭告知!!

盛りだくさんのイベントを予定

「第48回朝日祭」が盛大に開催されます。  
皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

期　　日 2018年 10/19(金)・20(土)

催し(予定) ライブコンサート、模擬店、bingo大会、  
フリーマーケット など

平成30年7月豪雨災害で被災されました皆様に  
心からお見舞い申し上げます。

## 関市で災害ボランティア

7月豪雨により岐阜県内でも甚大な被害が発生しました。

学生有志(相撲部、硬式野球部、防犯ボランティアめぐる)と教職員が、関市上之保地区の被災現場を訪れ災害ボランティア活動に従事しました。

同地区は報道されているとおり水害で家屋が倒壊したり、1階部分がそぎ取られた家々が立ち並び、学生らはその姿



にショックを受けながらも、住民の方々からの説明を受け、酷暑の中、堆積した土砂のかき出しと運搬作業、土囊づくりに従事。自然災害の恐ろしさを肌身で感じるボランティア活動となりました。

## ホッケー場がリニューアル

朝日大学ホッケー場「ブルーフィールド朝日」がリニューアルオープンしました。

これまでのサンドベース仕様のフィールドから、東京五輪



「ブルーフィールド朝日」の全景

のホッケー会場(東京:大井競技場)と同一のウォーターベース仕様のフィールドへと生まれ変わりました。

完成披露式典が行われたホッケー場では、記念試合として「第91回全日本ホッケー選手権大会」の覇者である岐阜朝日クラブとホッケー全日本代表チーム「サムライジャパン」とが対戦。式典参加者らは、国内トップレベルのプレーを目の当たりにして、大いに盛りあがりました。



昨年の朝日祭の様子